

三菱スリムエアコン別売部品 防雪フード取付取扱説明書

形名: AGJ(S)(T)-26F
AGJ(S)(T)-26B
AGJ(S)(T)-26S

安全のために必ず守ること

- ご使用の節に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ取付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告表示の記号と意味 表示と意味は、次のとおりとなっています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。お使いになる方は、いつでも見られる所に保管し、移設・修理の時は工事をされる方に、又お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。



取付けは、販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据付工事をされ不備があると、事故や故障の原因になります。

据付場所の選定

- (1)直射日光や他の熱源から、悪影響を受ける場所への設置は避けてください。
- (2)室外ユニットから発生する運転音が隣地へ影響をおよぼす場所への設置は避けてください。
- (3)電源及び室内側ユニットとの配線、配管に便利な場所へ設置してください。
- (4)雪のたまりやすい場所は避けてください。
- (5)据付上・機能上・サービス上必要なスペースを確保してください。
- (6)メンテナンスのできる高さ、場所へ取付けてください。
- (7)河川、海岸地域や海上上の施設、塩素等の腐食性ガスが発生する場所、屋内や屋根のヒサシの直下などホコリのたまる場所、また定期的に入れ替えがなされず、汚れた状態が長くつづいた場合や、常時湿潤している場所などは発錆腐食の恐れがあります。このような場所への取付けは避けてください。
- (8)強い外風の恐れがあるような所は、スリムエアコンの周囲に囲いなどで直接外風が当たらないようにしてください。
- (9)室外ユニット設置時、季節風が吹出口・吸込口の正面から当たらないように考慮ください。又ショートサイクルにならないように十分スペースを確保してください。
- (10)ショートサイクルを起こさないよう周囲の障害物を除いてください。
- (11)設置環境によってはショートサイクルをまねく恐れもございますので吹き出し風路の確保をしてください。

安全のために必ず守る事

防雪フードを組立、取付ける前に、安全のため必ず下記の事項を守ってください。

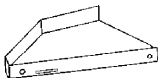
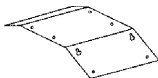
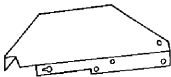
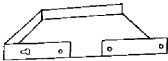
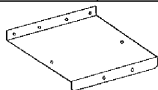
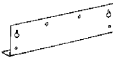
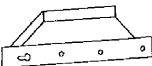
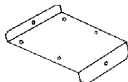
- (1)変形し、破損が生じると正常な取付けができなくなる恐れがありますので、防雪フードへ強い衝撃を与えないでください。
- (2)防雪フードの上に物を置かないでください。また、防雪フードを踏み台にしないでください。へこみや歪みが生じ、落下などによるけがの原因となることがあります。
- (3)作業服装は長袖、軍手、ヘルメットを必ず着用してください。
- (4)作業の時は手や体を防雪フードで切らないように充分注意しながら行ってください。
- (5)防雪フードの組立て、取付けにあたってはネジの緩みがないようしっかり締めてください。(緩みがあると脱落やビビリ音の原因になります)
※ネジの締付トルクは 1.4~1.9N・m にて実施ください。
- (6)ネジは必ず付属のステンレスネジを使用してください。
- (7)防雪フードを改造しないでください。本来の設計強度などが損なわれ壊れやすくなる原因となります。

組立

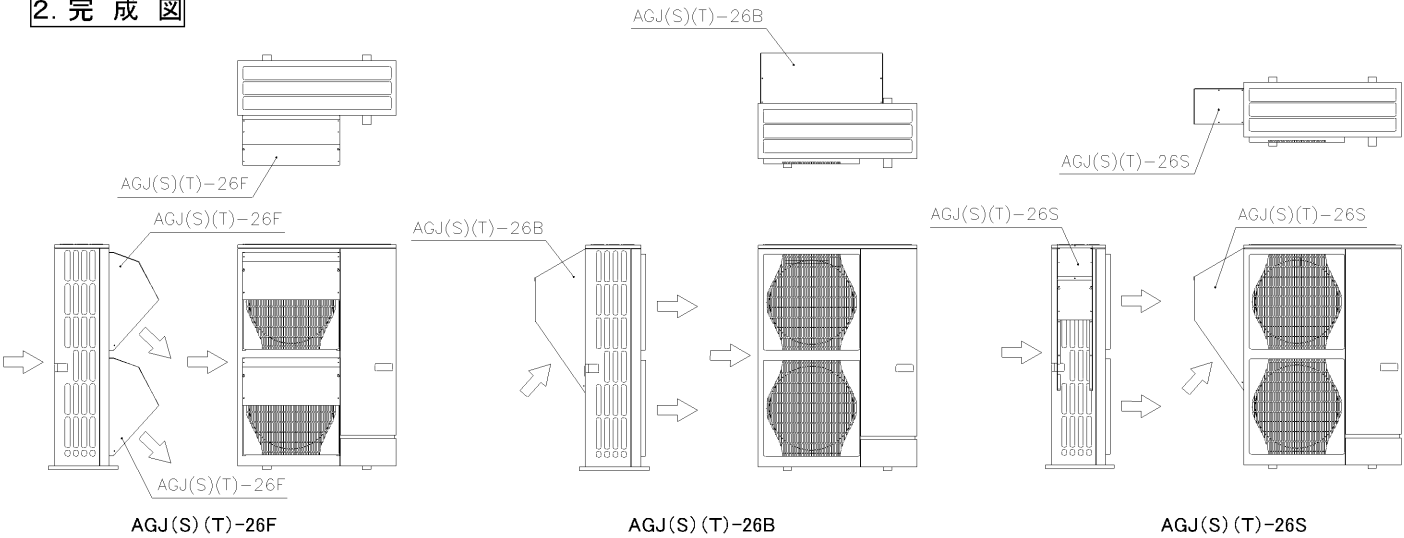
「防雪フードの組立方法」により部品点数を確認の上、組立ててください。

1. 部 品

この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますのでご確認ください。

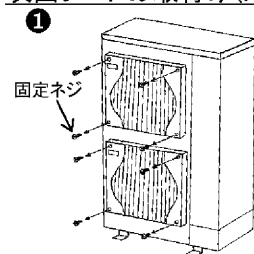
①サイドフード(吹出)(L)	F	2	②サイドフード(吹出)(R)	F	2	③トップフード1(吹出)	F	2			
						 (巾 575)					
⑤サイドフード(吸込後)(L)	B	1	⑥サイドフード(吸込後)(R)	B	1	⑦トップフード3(吸込)	B	1	⑧トップフード4(吸込)	B	1
						 (巾 728)			 (巾 728)		
⑨サイドフード(吸込横)(L)	S	1	⑩サイドフード(吸込横)(R)	S	1	⑪トップフード5(吸込)	S	1	⑫トップフード6(吸込)	S	1
						 (巾 210)			 (巾 210)		
⑬タビネジ	F	16	⑭歯付き座金	F	16	⑮タビネジ			⑯ドリリングネジ		
	B	8		B	8		B	6		B	2
	S	7		S	7		S	8		S	1
 (呼 4×6)						 (呼 5×10)			 (呼 5×16)		
⑰タビネジ (ネジバカ時に使用)	F	4	※室外ユニットへ取付時、ネジバカが生じた場合にご使用ください。 ※ドリリングネジ取付時は電動ドライバーをご使用ください。 また、ドリリングネジ取付時に出たキリコは除去してください。								
	B	2									
	S	2									
 (呼 6×12)											

2. 完成 図

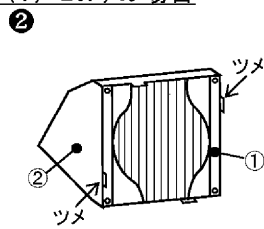


3. 防雪フードの組立方法

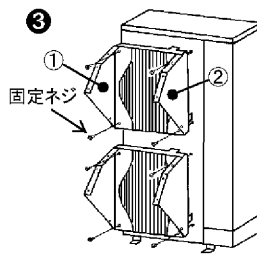
吹出フードの取付け(AGJ(S)(T)-26F)の場合



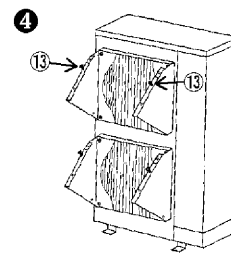
① 室外ユニットファンガードの固定ネジ(外周8本)を取外す。
※取外した固定ネジは、後で使用するので大切に保管してください。



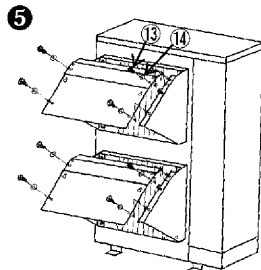
② サイドフード(吹出)(L)、② サイドフード(吹出)(R)を取外したファンガードのツメに入れ、取付ける。



③ ②で組立てた①サイドフード(吹出)(L)と②サイドフード(吹出)(R)とファンガードを取外した固定ネジで室外ユニットに取付ける。

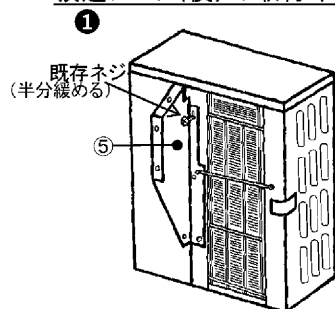


④ 上図の位置に⑬タッピンネジをネジ長の半分の位置まで回し込む。

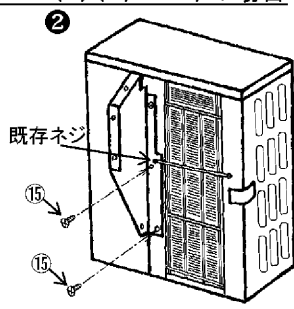


⑤ ④で取付けた⑬タッピンネジに③トップフード1(吹出)のダルマ穴位置で引掛け、ネジを締込む。
残りの穴には⑬タッピンネジ、⑭歯付キ座金で取付ける。

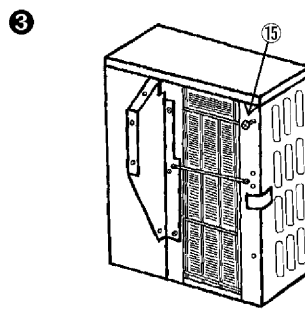
吸込フード(後)の取付け(AGJ(S)(T)-26B)の場合



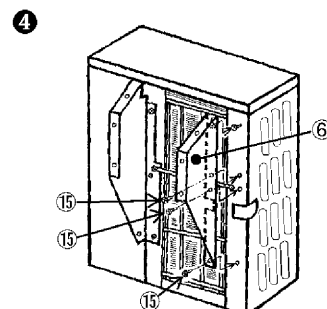
① 室外ユニットの一番上の既存ネジを半分緩める。
その他の既存ネジは一旦外す。
半分緩めた既存ネジに⑤サイドフード(吸込後)(L)のダルマ穴位置で引掛け、ネジを締込む。
※取外した固定ネジは、後で使用するので大切に保管してください。



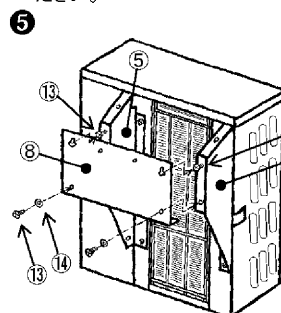
② 次に室外ユニットの既存ネジと⑮タッピンネジで取付ける。



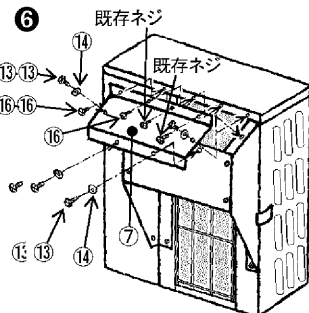
③ 室外ユニットの上部穴に⑮タッピンネジをネジ長の半分の位置まで回し込む。



④ ③で取付けた⑮タッピンネジに⑥サイドフード(吸込後)(R)のダルマ穴位置で引掛け、ネジを締込む。
残りの取付穴には⑮タッピンネジで取付ける。



⑤ サイドフード(吸込後)(L)、
⑥ サイドフード(吸込後)(R)の上図の位置に⑬タッピンネジをネジ長の半分の位置まで回し込む。
⑧ トップフード4(吸込)のダルマ穴位置で引掛け、ネジを締込む。
残りの取付穴には⑬タッピンネジ、⑭歯付キ座金で取付ける。



⑦ トップフード3(吸込)を室外ユニットの既存ネジと⑯ドリリングネジ※で取付ける。
⑤で組立てた⑤サイドフード(吸込後)(L)と⑥サイドフード(吸込後)(R)と⑧トップフード4(吸込)に⑬タッピンネジ、⑭歯付キ座金で取付ける。

吸込フード(横)の取付け(AGJ(S)(T)-26S)の場合

- ①**

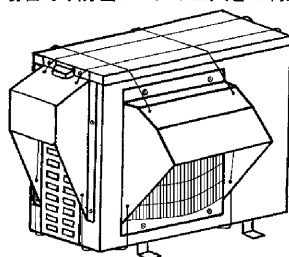
②

③

④
- ⑨サイドフード(吸込横)(L)、⑩サイドフード(吸込横)(R)の上図の位置に、⑬タッピンネジをネジ長の半分の位置まで回し込み、⑫トップフード6(吸込)のダルマ穴位置で引掛け、ネジを締込む。残りの取付穴には⑬タッピンネジ、⑭歯付キ座金で取付ける。
- ⑪トップフード5(吸込)を⑬ドリリングネジ※で取付け、④で組立てた⑨サイドフード(吸込横)(L)と⑩サイドフード(吸込横)(R)と⑫トップフード6(吸込)に⑬タッピンネジ、⑭歯付キ座金で取付ける。

お願い

- ワイヤー等(客先手配)による室外ユニットとの追加固定が必要な場合は、防雪フードの口穴をご利用ください。



- 室外ユニット本体の追加固定が必要な場合は室外ユニット本体の説明書をご確認ください。

定期点検

安全のため必ず下記の定期点検を行ってください。

- (1)防雪フード本体、及び防雪フードと室外ユニットとの取付け部のネジに緩みがないか点検を行ってください。
- (2)防雪フード及び室外ユニットとの取付け部分に、発錆や腐食がないか点検してください。
- (3)防雪フードの脱落防止のため、ネジの緩みが認められた場合は増し締め、発錆、腐食が認められた場合は修復を行ってください。
- (4)防雪フード内部に油脂、ホコリなど付着すると、サビ、腐食などの発生原因となります。(土やホコリの付着によって発錆のように見えます)定期的に点検清掃を行ってください。

三菱電機システムサービス株式会社

〒154-8520 東京都世田谷区太子堂4-1-1(キャロットタワー20F)

北日本支社	〒984-0042 仙台市若林区大和町2-18-23	(022) 238-1761
北海道支店	〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東2-1-18	(011) 890-7515
東京機電支社	〒108-0022 東京都港区海岸3-19-22	(03) 3454-5511
中部支社	〒461-8675 名古屋市中区矢田南5-1-14	(052) 722-7602
北陸支店	〒920-0811 金沢市小坂町北255	(076) 252-9519
関西機電支社	〒531-0076 大阪市北区大淀中1-4-13	(06) 6454-0281
中四国支社	〒732-0802 広島市南区大州4-3-26	(082) 285-2113
四国支店	〒760-0072 高松市花園町1-9-38	(087) 831-3186
九州支社	〒812-0007 福岡市博多区東比恵3-12-16 東比恵スクエアビル	(092) 483-8207

この印刷物は2006年3月の発行です。なお、お断りなしに内容の変更することがありますのでご了承ください。

X903060302

2006年3月作成